

やまもり通信 8 vol.60

今年の夏はおうちで過ごすことになりそうです。
風鈴やそうめんを用意して夏らしさを感じようかな。



【加子母の風景】標高の高い加子母でも毎年暑くなっていますが、吹く風が涼を誘います。

皆さま、こんにちは。
大阪市西区で「まごころ料理 鷺見（すみ）」という岐阜県の郷土料理店を経営しております。当店ではオープン当初からお持ち帰り弁当をやっておりますが、今回の新型コロナウイルスの影響で持ち帰りの需要が増えました。

店舗でお食事をする事がまだむずかしい状況の中で少しでも食卓に花を添えられる様に努力しております。この機会に当店のお料理をぜひご自宅で召し上がってみて下さい。前日ご予約で承ります。

- ・まごころバランス弁当 700円
- ・飛騨牛ステーキ弁当 3,000円
- ・ちらし寿司弁当 1,500円
- ・旬の炊き込みご飯弁当 1,500円



まごころ料理 鷺見
大阪市西区新町1-33-16 日宝新町ビル2F TEL:06-6536-3915
ランチ 11:30 ~ 15:00 (ラストオーダー 14:30)
ディナー 18:00 ~ 22:30 (ラストオーダー 22:00)
定休日:木曜日・祝日 <http://www.sumi-magokoro.jp/>

関西の皆さま。
やまもり通信の読者の皆さまには馴染みの深い岐阜県中津川市加子母に本社を置く「赤田刷毛工業株式会社」と申します。当社は昭和元年（1926年）の創業で94年間もの長きにわたり独自の機械化と伝統技術の融合を図りながら塗装用 / 食品用 / 絵画用として業務用から家庭用の刷毛まで幅広い商品を製造しています。現在ではよりクオリティーが高く肌に優しい洗顔ブラシから、強くて丈夫なプロ野球の審判用ハケまで独自に開発し特殊加工技術を生かした特注品を作り続けています。洗顔ブラシ ALTY など彩都やまもりにて販売していますのでそのなめらかな感触を手にとって確かめください。



赤田刷毛工業株式会社
岐阜県中津川市加子母3356-3 TEL:0573-79-2541
<http://www.akada-brush.com/>



OKBキャスト
ヨーヨーや手品など多才な特技を持つOKBグループ社員で結成された「OKBキャスト」。OKBや地域のイベントでパフォーマンスを披露し大活躍しています。「本当にOKBグループの社員なの?」と驚いていただけるようなOKBのおもてなし、ぜひご堪能ください。

OKB 大垣共立銀行

新開市
ひとこと日記

「やまもり市」リニューアルオープン!

7月4日(土)、5日(日)に「やまもり市」を開催しました。新型コロナウイルスの影響で3月から産直市を中止していたので、4か月ぶりの開催となりました。土曜日は強風と雨の中での開催でしたが、日曜日は前日の天気が嘘のように暑い1日となり、たくさんの方にご来場いただきました。はじめはどれほどのお客様に来ていただけるのか不安に思っていたのですが、約50組の方々にご来場いただき、岐阜県のことを知っていただくいい機会になりました。内容としては、産直市定番の朴葉寿司などの岐阜県特産品の販売（飛騨市のぼっか煮さわさんや恵那市の黒にんにくもお取り寄せしてます!）、岐阜の木をつかった木工品の販売、木のふれあいコーナーなどがあります。特に、大工さんでづくりの岐阜の木の家台はお客様からも好評で、スタッフも喜んでます!今後も様子を見ながらではありますが、ワークショップの開催や実演販売など、みなさんに楽しんでいただけるよう準備しているので、ぜひ遊びにいらしてくださいね!!



<今月のギャラリー案内> 彩輝館ギャラリー

「また逢いたい夏 岐阜 夏の風物詩」を開催しています。

【期間】7月22日(水)～8月31日(月)

今年コロナの影響で中止になった夏祭りの雰囲気味わってもらえたら・・・

郡上踊り(郡上市)や瑞浪美濃源氏七夕祭り(瑞浪市)、おいでん祭(中津川市)や竜神祭(下呂市)といった岐阜県各地の夏祭りで見られる小道具や踊りの衣装やパネル等で岐阜の夏祭りを再現しています。



瑞浪美濃源氏七夕まつり(瑞浪市)



下呂ミュージカル花火(下呂市)



龍神祭(下呂市)



ギャラリーの様子

《彩都やまもり今月のイベント》

新型コロナウイルス感染防止策を取りながら下記イベント開催を予定しています。

「やまもり市」

毎月開催していた「産直市」をリニューアル。大工さん手作り屋台で、朴葉寿司など岐阜の特産物販売に加え、ひのきの木工品や木端なども種類を増やして販売。また、お子様連れにも楽しんでいただける「木のふれあいコーナー」も予定しています。



【日時】8月1日(土)、2日(日) 9:30～15:00頃
9月5日(土)、6日(日) 9:30～15:00頃

【場所】彩都やまもり敷地内

※新型コロナウイルスの影響で、中止や内容変更になる場合があります。最新情報は随時彩都やまもり HP (https://yamamori.site) や facebook でご確認ください。



【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

が始まり、初参加者の紹介や会員の近況報告など、新型コロナ感染防止を念頭に控えめながら久しぶりの再会を楽しみました。閉会のあいさつは桂川工京都県人会会長にお願いしました。

今回も岐阜県、大垣共立銀行より参加者全員にお土産をいただきました。いつもながらありがとうございます。

なお、延期しました大阪岐阜県人会と関西岐阜県人連合会の合同記念式典は、来年1月下旬か2月上旬に開催予定の合同新年会に併せて開催することに決まりました。



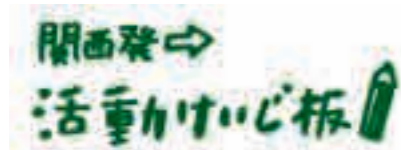
●2020年度大阪岐阜県人会及び関西岐阜県人連合会合同総会無事終了!

7月10日(金)太閤園にて2020年度の大阪岐阜県人会と関西岐阜県人連合会の合同総会を開催しました。新型コロナ感染防止を考え、関西在住の会員と連合会の役員を対象に時間を短縮しての総会となりました。

本来なら大阪県人会の創立120周年、関西県人連合会の同10周年の記念式典も同時開催の予定でしたが、残念ながらこのような形となりました。

総会は冒頭、主催者を代表して寺岡龍彦大阪県人会会長のあいさつの後、徳田昭憲関西県人連合会会長代行の議案説明に移り、2019年度の事業報告、決算報告、2020年度の事業計画案などすべての議案が原案通り全会一致で可決承認されました。

高野文男神戸県人会会長の開会あいさつで懇親会



本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して24年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 http://febako.jp



加子母の人 歴史の道 ⑧ 第54回 上桑原(木曾越古道)と内木家

道の駅加子母から東側の山を見ると、少し高いところに法禅寺、その少し下に竹林と漆喰壁が見えます。ここが旧家「内木家」。「山守資料館」として開館準備中です。内木家は南北街道に面し、ここから御嶽山へつながる山道(木曾越古道)が分岐しています。

●木曾越古道
内木家から法禅寺、木曾谷をさかのぼり木曾越峠、渡合、白果峠を経て、木曾の王滝村へ至る道は、昔は御嶽登山の表参道でもあり、王滝村の人たちの大切な生活道でもありました。遭難者の菩提を弔うと共に道案内にもなった石仏三十三観音は、内木家が一番として迷いやすいところに順次建てられています。この観音は、地域の有志により搜索、整備されています。



●「内木家」と3万点を超える古文書
内木家は、江戸時代中期の享保15年(1730年)から尾張藩の「御山守」をつとめてきました。御山守は御家人格で、森林の保護や整備、違法伐採の取締り、山の境界の警備など森林管理が仕事でした。土蔵には、江戸前期から明治・大正までの古文書や記録が3万点上残され大切に保存されています。特に、11代当主で

右:三番観音/中:内木家/左:彦七と村人

親戚や近所の人が、一日の仕事が終わると入れかわり立ちかわり彦七の屋敷へやってきてくるぎ世間話に興じて帰っていく。その日の疲れを癒しながら身内の者と酒を飲み会話を楽しんだりして「コミュニケーションをとっている様子」を表しているそうです。今では死語になりつつある「家団欒」の時間です。緩々と過す。今、コロナで私たちが失っている大切な時間が、まさにこれかもしれないーと思いました。【文責本間】

2代目御山守の内木彦七武久は、大変な筆まめで、「御山方御用并に諸事日記」と題する12年に渡って書かれた日記の9年分が集中的に残っていました。御山守としては、誰をいくらで雇ったとか熊の胃など山の恵について山の中での出来事が詳細に書かれ、日々の諸事では、朝起きてから寝るまで、誰が何をしにやってくるようになったのか、家族や近所の人の旅や喧嘩、些細な出来事が書かれていて、当時の人たちを身近に感じることが出来ます。

●緩々(ゆんげん)
「御山方御用并に諸事日記」を調査して書かれた、徳川林政史研究所の太田尚宏先生の著書「尾張藩の林政と森林文化2 山村の人・家・つきあいー江戸時代の、かしも生活①」。この中で紹介されている「緩々」という表現が、今、とても気になります。

